

# 派遣留学生帰国報告書

記入日			
所属学部	工学部		
所属学科・専攻	電気電子学科		

## 1. 留学先について

留学先大学名	デブレツェン大学			
留学先所属学部等	科学技術学部電気工学科			
留学期間	出発日 2016/8/31	入学日 2016/9/12	修了日 2017/2/10	帰国日 2017/2/26
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他( )	
	通学時間	30分		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	バス		
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> ( 2 ) 人部屋	<input type="checkbox"/> その他( )
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他( )		
食事	自炊 70 %	学食 0 %	外食 30 %	その他 % ( ) * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	Sompo Japan Nipponkoa (Overseas travel accident insurance)		
	大学指定の保険(名称)			<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	成田⇄モスクワ(飛行機)⇄ブダペスト(飛行機)⇄デブレツェン(電車)			

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	85万	円	* おおよそでかまいません。					
出処								
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト	12万	円	<input type="checkbox"/> その他	円	
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	10万	円	<input checked="" type="checkbox"/> 家族・親戚	5万	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	35万	円	<input checked="" type="checkbox"/> その他名称( stipendium hungaricum )	7万5千円	円		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金	15万5千円	円	<input type="checkbox"/> その他( )		円		

### 2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	10万	円	<input type="checkbox"/> その他( )	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他( 現地引き落とし )		

## 2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	現金振り込み
住居にかかった費用	現金振り込み
その他	

## 2-3. 内訳 \* 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			160,000	円
海外旅行保険			85,000	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証			10,000	円
住居			0	円
食費			250,000	円
通学に要する交通費	forint	18,000	7,000	円
教科書、教材費			4,000	円
その他大学に支払った経費	forint	5,000	2,000	円
光熱費	forint	18,500	7,100	円
その他 ( 生活用品 )			100,000	円
その他 ( 旅費 )			150,000	円
その他 ( 交際費 )			50,000	円
その他 ( )				円

## 3. 学業面 \*必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex. 正規、聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無	
1 programming 1	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 digital electronics 1	正規	5	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 eletronics 2	正規	6	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
4 acadmic english for engineering	聴講	3	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

### 3-1. 授業科目の選択、登録方法 \* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

一定の登録期間においてneptunシステムと呼ばれるネット上で行うが、不具合が多いので結局事務所に訪ねることは必須である

### 3-2. 授業内容、方法に関して

千葉大の授業とあまり変わりはなく、理系では講義型が主流。ただ、生徒からの発言が多い

### 3-3. 語学力について

教授によりけり言語能力の差が著しい。基本的に生徒の方が言語力がある。

### 3-4. 図書館など学内施設について

自習室は比較的少ないが、図書館は大きく、魅力的な建造物である。学内wifiインターネットは少し乏しい。

### 3-5. その他

キャンパス建物がかなり離れているので、位置の把握に難しく、かつスタッフが英語を使えない。

## 4. 生活面 \* 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

### 4-1. 住居について

ワンルームに二人部屋なので、相手と自分の価値観を一緒だと思わない事。特に睡眠時間や衛生管理などに気をつかう。

### 4-2. 食生活について

魚や米、味噌、醤油など日本人の主食がかなり乏しく、手に入ったとしても圧倒的に高価である。パンや肉、異なる野菜などの食生活に適應することが必要

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

寮部屋にはwifiが届いていなく、優先ケーブルが必要。大学内wifiも少し乏しい。携帯電話料金は日本とさほど差はない。

### 4-4. 服装について

夏でも肌寒く、冬は-15℃ほどまでいくので厚着の服が必要不可欠。

## 4-5. 健康管理について

ヨーロッパ人は日本人に比べると朝までかなりお酒を飲むので、友達付き合いとして断り方を知らないと風邪を引く。また、寒さ乾燥による影響も大きい。

## 4-6. 保険、OSSMAの利用 \*利用実績等をご記入ください

定期的な生存確認メールへの返信

## 4-7. 課外活動について

デブレツェン大学の学生主催によるESNという団体によって、毎週イベントがあり飽きることはない。また、留学生グループ同士で仲良くなるので、そこでも日タイイベントが発生する。

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学生街なので、学内でコミュニティーが完結してしまう。また、学外の間は基本的に英語を話さない。

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

箸、靴下、下着、薬

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ティッシュ、マスク

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

挨拶はハグかキス、パーティーは基本的に朝まで。

## 4-12. 余暇の過ごし方

旅行 \* 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

チェコ共和国・プラハ、2016年10月(4日間)、約3万円

ポーランド・クラコ(2日間)、約2万円

オーストリア・ウィーン(5日間)、約5万円

イタリア・ミラン(5日間)、約5万円

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

サッカーやバスケットボール、映画鑑賞

## 5. 報告

### 5-2. 留学先大学について

ハンガリーの第2の都市にある国立大学で、500年近くの歴史があります。感覚的にはハンガリーの京都大学のような立ち位置です。ハンガリー人と留学生で教育機関が分かれているが、全生徒約30000人に対し外国人生徒は2000人程在籍し、毎年300人ほどの留学生が訪れます。また、世界大学ランキング500位以内、医学を始めとし工学、経済などの40以上の学科が存在します。

### 5-3. 留学中の様子(450~500文字)

現地でのコミュニティは留学生とハンガリー学生によるESN(Erasmus Student Network)という学生団体によって構成されたグループに属します。ほぼ毎日のようにイベントが発生して、飽きることは無いが、逆を言うとそれ以外のコミュニティとの接点はかなり薄いです。何かイベントがある度にお酒を飲むので、お酒が飲めない人、パーティーが苦手な人は部屋にこもりがちになる可能性が高いです。医学部を除き、アジア人はおろか日本人はほぼいないので(実質一人もいなかった)マイノリティー、孤独の環境をどう克服していくかが大事になっていくと思います。結果的にはヨーロッパでの社会性はかなり身につくと思います。

物乞いは少しアグレッシブなので対処の仕方を覚える必要はありますが、現地の治安はかなり良く、深夜女性が一人で歩いていることもよく見かけます。基本的には人々は優しいですが、街中では英語が通じないので苦労することも多々あります。また、物価は安いので生活には優しいですが、物が少ないので現地で買えることを期待しないほうがいいです。ブダペストまで買い物に行くか最悪、ネット通販で1か月待ちな

### 5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

選択に迷ったら一度初心に戻って、なぜ留学に行きたいのか整理してみてください。留学が本当にやりたいこと

であるならば、周りの言葉、評判、情報、噂に惑わされずに自分の気持ちに従って飛び込んでください。そこに必ず道はあるはずです。やりたい事をやった結果の後悔より、やらなかった後悔の方が後悔すると思います。

留学は何も言語能力、研究やキャリアのためだけのものではなく、文化、価値観や人脈、社会性を学び、しいては自分の夢をかなえる場所もしくは叶えるための通過点になるものです。留学が必ずしもプラスに働くとは

限りませんが、自分がやりたいことのために努力したことは無駄にはならないと信じています。皆様が自らの肌で

世界を経験することを心から応援しています。

### 5-5. 留学を終えて \* 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

今回の海外生活で一番の大変だったのはコミュニティの変化でした。海外一人旅などで海外にあまり抵抗の無い私でしたが、今回の留学先では日本人一人というマイノリティーの環境が私に問題解決能力、コミュニケーション能力の向上をもたらしたと思っています。約束一つ、手続き一つとっても文化背景、考え方の違いから必ず問題が生じ、その度に自分の常識を含め、何故、どのような意図なのかを考えるようにしました。さらには、物事の道筋を考え予想される問題を推測し先に手を打っておくことも養われたと思います。加えて、絶対的マイノリティーによる孤独という感情をどうコントロールしていくかが課題でした。言語や人種など決定的な違いではなく、少しずつの違いで違和感を感じているように思いました。自分を理解してもらうためにも、相手個人を理解するために常に何故の姿勢を忘れずコミュニケーションを取ることを意識しました。

また、この度の留学で得たものは数多のものがありますが、一番大切に思えるのは世界を舞台に活躍するであろう同年代の人たちと交流でき、人脈を築けたことだと思います。この先、物事の見方に迷い詰まった際、色々な視点、文化背景をもつ人たちと話し合え共有できる環境にいつでもおけるということは長い目で見ても自分の人生を豊かにする上で重要だと考えられます。なので、帰国して遠くに住むことになってもこの人脈を切らずに大切にしていきたいと思っています。

お疲れ様でした